

誤薬発生率

■ 指標の説明・定義

DiNQL における誤薬とは、看護職員（看護補助者は含まない）による与薬に関するエラーを指します。例えば、薬剤間違い、与薬量間違い、患者間違いなどの内容は問いません。

■ 当院の特徴

京大病院では、患者誤認投与防止のためフルネームによる名乗らせ確認や注射薬については照合端末による実施前照合を行っています。また、点滴開始時には指さし呼称による確認を推奨しています。

患者間違い等のインシデント報告については、医療安全管理室や部署による調査を実施し、対策を講じます。共有すべき事象については、リスクマネージャー会議や京大病院医療安全情報、医療安全講習会にて職員に周知しています。

■ 2017 年度 誤薬発生率

	一般病床		精神病床	
	京大病院	全病院 (494 件)	京大病院	全病院 (78 件)
25 パーセント	4.77%	1.41%	0.75%	0.71%
中央値		2.41%		1.70%
75 パーセント		3.54%		3.27%

注 1) DiNQL では同じ1事例について複数の報告があった場合は1件として計上するとあるが、当院においては重複報告も含む。

注 2) DiNQL では発見者が看護師であっても当事者が医師や薬剤師等の他職種の報告は除くとあるが、当院においてはそれらも含む。

■ 誤薬発生率 算定式

誤薬発生率 = (誤薬発生件数 ÷ 在院患者延べ人数) × 1000 (‰)

■ 値の解釈

より低い値が望ましい。